

# 第 10 回中国国際工作機械展覧会 (CIMT2007) に出展

## JTEKT Exhibits at 10th China International Machine Tool Show

2007年4月9日から7日間にわたり北京市中国国際展覧センターにおいて中国機械工具工業協会主催の第10回中国国際工作機械展覧会が開催された。総来場者数は27万9500人(表1)と過去最高であり、昨今の中国市場好況(図1)を反映した非常に活況ある展覧会であった(図2、図3)。

JTEKTは、GC20M-63 CBNカムシャフト研削盤、FH630SX 横形マシニングセンタの加工実演展示を行い、また、プログラマブルロジックコントローラ TOYOPUC\*-PCSとPC10G、および精密ボールねじ用サポート軸受などの商品を展示した。

また、JTEKTグループからは 光洋電子(無錫)有限公司の小型プログラマブルロジックコントローラや豊田バンモップス(株)のダイヤモンドロータリドレッサーなどを展示した。

表 1 出展規模

	2001年	2003年	2005年	2007年
展示総面積	34 000m <sup>2</sup>	35 000m <sup>2</sup>	72 000m <sup>2</sup>	72 000m <sup>2</sup>
総来場者数	136 000人	66 000人	240 000人	279 500人
海外出展社数	430社	500社	550社	570社
国内出展社数	650社	600社	550社	570社



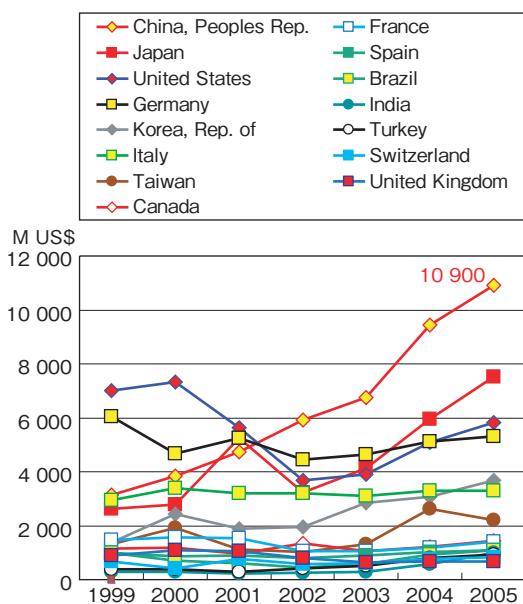
図 2 開会式風景



図 3 JTEKT ブース

### 出展機の技術紹介

1) GC20M-63 CBN カムシャフト研削盤



資料：工作機械統計要覧（社団法人 日本工作機械工業会発行）  
※2002年より中国が消費量世界一となっている

図 1 世界の工作機械消費量の推移

●研削除去量一定制御 (図4)

カム研削の取代変化に追従し主軸速度のオーバーライドを自動決定. 研削時間を 20% 短縮

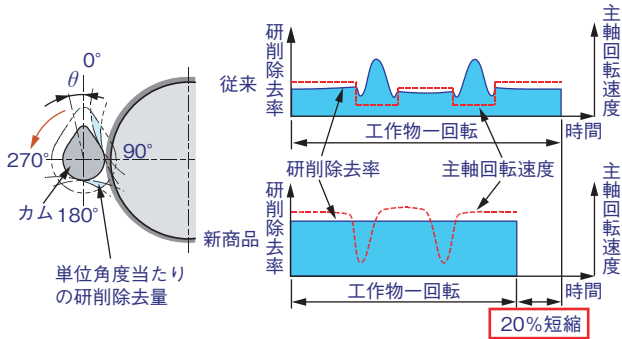


図4 研削除去量一定制御

●砥石台送りのリニアモータ化 (図5)

砥石台送り軸のリニアモータ化によりボールねじのばね要素を排除し高精度化

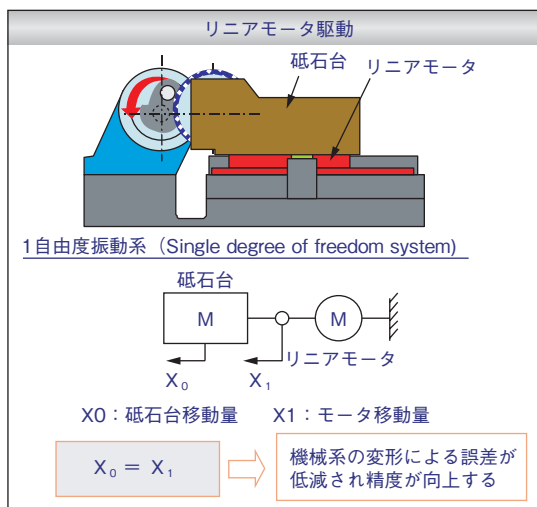


図5 リニアモータ駆動部

2) FH630SX 横形マシニングセンタ



●ボールねじの発熱による伸び量をボールねじ端面部に配置したギャップセンサで直接測定し補正を行う熱変位補正機能を標準装備

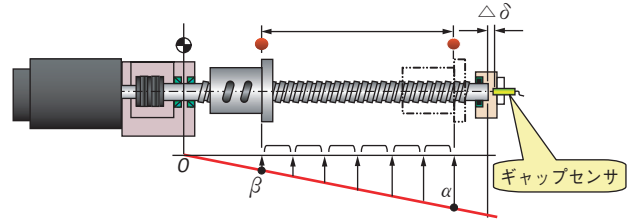


図6 ボールねじ補正機能

展示会に見る中国工作機械産業の動向

中国の工作機械メーカーは、輸入機免税特典を厳しく管理した保護貿易政策と国からの資金援助を活用し、海外先進技術の吸収と自主開発により技術レベルを向上させている。技術向上が難しく、当面は輸入機の市場とされてきた横形マシニングセンタの出展が目立っていた。今回のマシニングセンタの出展台数は約210台あり、前回の110台に比較して増加していた。その内中国製が120台、外国製が90台であった。(参考として世界における中国の工作機械生産量の推移を図7に示す。)

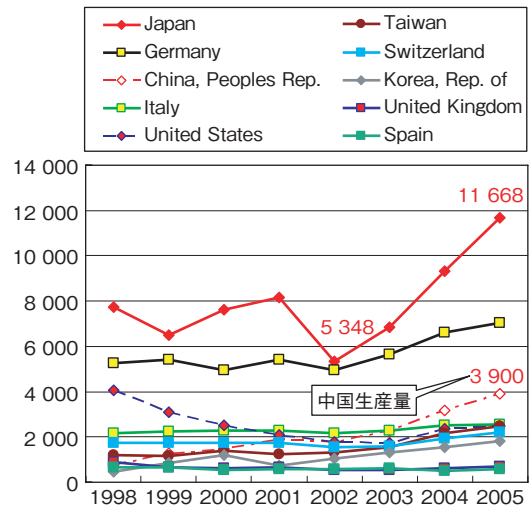


図7 中国工作機械生産量の推移

## おわりに

JTEKT ブースには、見学目的だけでなく、具体的な商談目的を持った顧客が多数来場された（図8）。

特に FH630SX 横形マシニングセンタは、引合いが多く受注に結びつけるために精力的な販売活動を続けている。

本展示会を機会に中国市場での今後より一層の販売拡大に向け取り組んでいきたい。



図8 活況な商談風景

\* TOYOPUC は(株)ジェイテクトの登録商標です。